

2018.3

事務局 (地独) 京都市産業技術研究所 デザインチーム (担当:比嘉, 竹浪, 木戸)
kyotonokogei@tc-kyoto.or.jp
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91
TEL:075-326-6100(代表) FAX:075-326-6170(代表)

No.12 京都工芸研究会便り

1. 来期事業のあり方検討中! 事業アンケート結果と事業企画チーム結成について

■事業アンケートの概要報告



「研究会事業に関するアンケート」にご協力くださりまして、ありがとうございました。ここに集計結果の概略をご報告いたします。

*回収率 74%(86会員中64会員から回答を得た) *詳細につきましては「集計結果 報告」をご参照ください。

<関心のある事業は?>「C商品開発研究事業」

次いで「b見学会・交流会」,「a講演会・講習会」となりました。テーマによるグループ活動の「c」と、会員全体が参加しやすい「b」と「a」をバランスよく実施することが求められています。

<講演会・講習会のテーマは?>「工芸や美術全般」

「京都の歴史や文化」「プロダクトデザイン」がこれに次いでいます。他のテーマも満遍なく票が入っていますので、「工芸」「美術」などの定番の課題の他、時宜にあったホットな話題をテーマが求められています。

<見学会・交流会は?>「他所の産地や工場・工房見学」

技術的な学びや知見が得られる見学、視察などにみなさまのニーズがあるようです。交流会はそれらとセットでの企画ですめていければと思います。

<商品開発研究事業の方向性は?>

A案(主に試作開発を重視)とB案(主に販路開拓を重視)では「どちらかと言えばA案」が多数

「大いに関心あり」でいえばA案とB案では同程度でした。このことから、事業の方向性としては、AかBかではなく、状況により、企画内容や実施方法や時期を検討し、両者のバランスをとって実施することが求められています。

<インターネット活用について>

ウェブサイトやフェイスブックを設置しているのは55%(64会員中)



研究会FBも、ほぼほぼでやっています。

会員と研究会ウェブとのリンク作業をすすめます。インターネット環境を整備していない会員については、工房を訪問するなどしてウェブ上で紹介するなどどうかと検討中です。

■事業企画チーム発足に向け、メンバー大募集!!

アンケート結果を受け、京都工芸研究会の事業をみなさまのご意見をより反映させたものとするために、会員による「事業企画チーム」を発足させていきます。

幅広い工芸分野で構成される研究会の強みをいかして、異業種混合のチームでワイワイガヤガヤと自由な発想による事業企画をぜひご提案ください。事務局とともに研究会活動を盛り上げてくださる方の参加をお待ちしております!

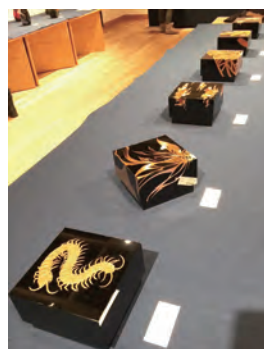
*詳細は事務局まで。案内チラシもご参照ください。

2. 伝統産業技術後継者育成研修 漆工コース修了作品展

京都伝統産業ふれあい館 イベントルーム 2/28(水) ~3/4(日) 10:00-17:00

本年度の漆工コースは6名の研修生が受講し、丸盆、パネル、飾り箱、デザイン開発製品など42点の作品を仕上げ、披露しました。京都の伝統的漆工技術を学びながら、各自のオリジナルのデザインを凝らし、のびのびとした作品となりました。

来年度は、蒔絵を専門的に学ぶ漆工応用コースが実施され、引き続き受講される方もおられます。技に磨きをかけ今後の漆器業界の担い手となっていただくよう見守りたいと思います。(研究会は漆工コースを後援しています)



3. 【話題】

京都の伝統工芸で「食べる楽しみ」を叶える、感性価値の高い介護用食器ができました。

京都市産業技術研究所では、「高齢者のQOL向上のための、京都の伝統工芸による美的感性価値の高い機能性介護食器の開発(2015～)に取り組んでいます。



汁椀(左上)と八角器(弁当箱内右上)は、研究会会員の遊部工芸株式会社による制作

これまでの介護食器は「使いやすさ」が最優先されるあまり、特殊なカタチや味気ないプラスチック製が多く、食欲が減退してしまうといった声がありました。そこで、京都の伝統工芸品が持つ「おとな向けの美しさ」という感性的な魅力に着目し、健常者用の食器と違和感の少ないカタチと機能性を融合させて”食べる楽しみ”を提供できる介護用食器として、松花堂弁当風の食器セットを開発しました。

開発には、医師・作業療法士・料亭・大学な様々な分野の専門家が関わり、使った方からも「いつもより美味しく感じた」と評判も良く、工芸の新しい活用の取り組みが評価されて「京都デザイン賞」(H28年度)を受賞しました。現在、市販に向けて改良を進めています。

4. 研究会活動

■第10回竹編組勉強会 2/15(木)

勉強会では、毎回それぞれの技術的課題を持ち寄って、情報交換しています。今回は、自作の木型で盛器の編みに取り組む参加会員(冊さん)へ、型への編み地の当て方などを小川進委員が指導されていました。平らな盛り鉢ですが、シンプルな形だから逆に編み目をととのえるのが難しい…。次回は3/15(木)です。



■見学会・交流会のお知らせ (別送の案内も参照ください)

- 期 日:平成30年3月22日(木)
- 場 所:中之島フェスティバルタワー・ウエスト
- 内 容:・見学会 中之島・香雪美術館 開館記念展
「珠玉の村山コレクション ～愛し、守り、伝えた～」
・交流会 コンラッド大阪「アトモス・ダイニング」
- 臨時会費:お一人4,800円
*当日、集合時に会場でお受けします。
- 定 員:22名(先着順)
*お申込後のキャンセルはご遠慮ください。
*定員に達した場合はその時点で締切りとなります。
- 申込締切:3月15日(木) ▶詳細は事務局まで

事務局より

- 2018年3-5月の主な予定
- 2/28(水)～3/4(日)10:00-17:00(最終日16:00まで)
伝統産業技術後継者育成研修 漆工コース
修了作品展(於 京都市勧業館 みよこめっせ)
- 3/ 2(金) 15:00～17:00 第4回委員会
- 3/14(水) 伝統産業技術後継者育成研修漆工コース修了式
- 3/15(木) 18:00～20:00 竹編組勉強会(11)
- 3/22(木) 15:00～19:30 見学会・交流会
- 4-5月中 平成30年度第1回委員会、事業企画チーム会議

工房 拝見!

竹工房喜節



細川秀章さん(竹工房 喜節)は竹編みのバッグを中心に竹工芸品を制作されています。工房名の「喜節」は、「節あってこそしなやかな竹で自らは作って喜び、お客様には使って喜んでもらいたいという想いから」付けられたとのこと。定番のクラッチバッグやセカンドバッグは、精緻な竹編の美しさもさることながら金具や内装の生地にも凝った逸品で安定した人気。他の工芸技術とのコラボにも積極的です。

そんな細川さんですが、工房を訪れるお客様から竹について質問を受ける中で、竹という素材についてまだまだ知らないことがあると感じているそうです。お客様にしっかりと京都の竹工芸のよさをお伝えするために、まず作り手が素材のことをもっと知る必要がある。例えば伝統的工芸品に指定されている「京銘竹」のことを自分自身が学ぶ。自分が学ぶだけでなく他の竹工芸技術者はもちろんお客様にも情報をシェアして拡げていく、そんな活動を通じて「京都の竹」全体のブランドアップにつなげる取組ができないか…。お話する中で「京都の竹」への熱い思いを感じました!ぜひフォローしていきたいと思えます。(2018.1.24取材)



つぶやいていいですか。

沖縄の定番調味料・コーレーグースは我が家の食卓に必須。泡盛に島唐辛子を漬け込んだもので、通常は沖縄そばや野菜チャンプルーにかけて使いますが、味噌汁に少々垂らしてもよく、すっぱ辛い感じが味を引き締め体が温まります。このコーレーグース、市販品にあきたらず自作を試みることに。小瓶に島唐辛子を詰め43度の古酒泡盛を注ぎ10日ほど待つ。さて出来上がりのほどは?次の機会に…(ひ)